



# GID(性同一性障害)学会

## 第14回 研究大会・総会(岡山)

# 医療から社会への発信

日時：2012年 3月17日(土)～18日(日)

会場：岡山大学鹿田キャンパス(医学部)臨床講義棟

会長：岡山大学大学院保健学研究科

岡山大学病院ジェンダークリニック 中塚幹也

**一般演題募集**  
**2011年12月1日～28日**  
ホームページからお申し込みください。

- シンポジウム 手術を取り巻く現状**  
手術を取り巻く各種の課題
- シンポジウム 家族を考える：生殖医療・養子縁組**  
AID問題の当事者からの声(持田慎一さん(仮名))  
生殖医療・法律・社会学の視点から
- シンポジウム 子ども達への支援：医療と教育の連携**  
思春期の当事者に対するGnRHアゴニストによる第二性徴抑制  
学校での対応、就労に向けた支援と医療へ求めること
- シンポジウム 当事者グループの役割と機能**  
多様性と地域性を重視した活動の紹介と連携

**特別講演 「韓国における性同一性障害診療」**  
Refinement of management in the GID patients  
東亜大学形成外科(韓国釜山) 金 碩權(キム ソックアン)先生

**解説 改訂ガイドライン第4版**  
GID治療ガイドライン最新版の変更点

**GID学会からの提言(学会理事長)**  
医療保険、法律、教育との連携、生活支援、就労、  
専門家養成などの各種課題と学会としての取り組み

**生活支援ワークショップ(医学部保健学科棟)**  
専門家からのアドバイス  
メイク・ファッション・ボイストレーニングなど

**ランチョンセミナー ホルモン療法**  
ホルモン療法と更年期

ホームページで  
申込受付中

**第3回GID手術手技研究会**  
2012年3月17日(土)10:00～12:00  
ご参加は医療関係者のみになります。  
詳細はホームページをご参照ください。

**お問合せ**  
GID学会第14回研究大会事務局  
岡山大学大学院保健学研究科 中塚研究室 事務局長 松本洋輔  
〒700-8558 岡山市北区鹿田町2-5-1 担当 富岡美佳  
Phone & Fax: 086-235-6538  
E-mail: gid-14th-okayama@cc.okayama-u.ac.jp  
http://gid-14th-okayama.kenkyuukai.jp/information/  
岡山大学病院ジェンダークリニック  
http://www.okayama-u.ac.jp/user/g-clinic/  
岡山大学病院ジェンダーセンター  
http://www.okayama-u.ac.jp/user/hos/gendercenter.html

当事者グループ、支援グループ、患者会などの各種の団体に無料で展示ブースをお貸しいたします。活動の報告や広報にご活用ください。数に限りがありますので、お早めにホームページからお申し込みください。



第1会場（臨床第1講義室）

11:00

受付開始

12:50-13:00

開会のあいさつ

中塚幹也 会長  
岡山大学病院 ジェンダークリニック  
岡山大学大学院 保健学研究科

13:00-13:30

一般演題1 口演

座長： 松本洋輔 岡山大学 精神神経科

1. 性別違和における、性同一性の自我同一性への統合という視点  
松永千秋 日野病院精神科
2. 性別違和を訴える者の3年後の臨床経過  
針間克己 はりまメンタルクリニック
3. 性同一性障害当事者の心理社会的困難の分析に向けて  
池田官司 北海道文教大学人間科学部作業療法学科

13:30-14:00

指定発言：被災地から「震災から1年」

座長： 山本 蘭 一般社団法人 gid.jp 日本性同一性障害と共に生きる人々の会

1. 震災から1年 被災地 いわきからのメッセージ  
中嶋 明 一般社団法人 gid.jp 日本性同一性障害と友に生きる人々の会 南東北支部
2. 性と人権ネットワーク ESTO からの報告
  - ① 「宮城県における被災者支援活動の報告」  
真木柁鷹 性と人権ネットワーク ESTO
  - ② 東日本大震災におけるセクシュアルマイノリティの被災状況およびニーズ・課題に関する調査—GIDの事例—  
内田有美 性と人権ネットワーク ESTO, 宮城学院女子大学大学院人文学会

14:10-14:40

一般演題2 口演

座長： 東 優子 大阪府立大学人間社会学部

1. GID当事者の「ふるまい」と教師の「気づき」の限界—当事者と学校・医療の連携の課題—  
本渡 葵 広島大学大学院 教育学研究科
2. Female To Male (FTM)が経験する生活上の問題の内容  
安藤孟梓 北海道医療大学大学院 心理科学研究科
3. MTFの語る社会のなかでの性別移行プロセス —当事者性カミングアウト体験の視点から—  
西野明樹 目白大学大学院 心理学研究科臨床心理学専攻

14:40-15:20

一般演題4 口演

座長： 山本和儀 山本クリニック

1. 長崎大学病院性同一性障害外来受診継続者の特徴について  
越本莉香 長崎大学病院 精神神経科
2. さとうクリニック通院症例の治療転帰について  
佐藤俊樹 さとうクリニック
3. 性別違和をもつ方への精神的サポートを考える ～来院時の不安と抑うつの評価をもとに～  
矢野里佳 福岡大学医学部 精神医学教室
4. 性同一性障害当事者の感じているストレス状況について  
堀内真希子 岡山大学病院 医療技術部

15:20-16:00

ワークショップ1:ボイストレーニング

座長: 福島邦博 岡山大学 耳鼻咽喉科

1. ホルモン未投与/投与中の Female to Male の声の満足度—音響分析結果や他者評価と関連するか  
正岡美麻 東京大学大学院 総合文化研究科  
日本学術振興会 生命環境科学系認知行動科学大講座
2. 病院における GID 言語聴覚療法 —当院における取り組み—  
古西隆之 岡山大学病院 総合リハビリテーション部
3. MtF の transsexual voice therapy における評価システム 知覚的女性度推定機  
櫻庭京子 獨協医科大学越谷病院 リハビリテーション部

16:10-17:30

シンポジウム1:手術療法

座長: 難波祐三郎 岡山大学病院 ジェンダーセンター  
岡山大学病院 形成外科

(コーディネーター・難波祐三郎)

1. ナグモクリニックにおける GID 外科療法に対する取り組み  
山口 悟 ナグモクリニック名古屋 GID センター
2. SRS 術後の下肢筋・神経障害を規定する因子の検討  
舛森直哉 札幌医科大学 泌尿器科
3. 当科における GID の外科療法の手術を取り巻く現状について  
百澤 明 埼玉医科大学 総合医療センター 形成外科・美容外科
4. FtM に対する尿道延長術・陰茎形成術後の尿路合併症についての検討  
杉本盛人 岡山大学 泌尿器科
5. 我々の行っている尿道・陰茎再建術  
関 征央 東京大学医学部附属病院 形成外科・美容外科

17:30-18:30

Refinement of management in the gender identity disorder patients

特別講演:韓国における性同一性障害を取り巻く現状

～手術法, 保険適用, 法律～

座長: 木股敬裕 岡山大学 形成外科

Seok Kwun Kim, M.D., ph.D.

Professor, Department of Plastic and Reconstructive Surgery, Dong-A University Hospital, Busan, Korea

金 碩權 (キム ソックアン)

東亜大学形成外科 (韓国釜山)

18:45-20:30

懇親会

※別会場になります。詳細はお知らせのページをご参照ください。

第2会場（臨床第2講義室）

11:00-12:30

ポスター掲示（第2会場の外）

12:00-12:30

GID/トランス関連団体交流会

14:10-14:40

一般演題3 口演

座長： 石原 理 埼玉医科大学 産科婦人科学

1. マウスモデルを利用した発現解析による GID 関連遺伝子探索の試み  
仲地 豊 埼玉医科大学ゲノム医学研究センター トランスレーショナルリサーチ部門
2. MTFTS に対する造脛術における術式の選択  
光井俊人 岡山大学病院 形成外科
3. コンパートメント症候群の予防法  
藤原千津子 岡山大学病院 手術部

14:40-15:00

一般演題5 口演

座長： 内島 豊 赤心クリニック泌尿器科

1. テストステロン補充中の多血症のコントロールに難渋している FTM の1例  
内田洋介 鹿児島大学大学院 医歯学総合研究科 泌尿器科
2. GID ホルモン療法のエビデンス構築の試み下部尿路機能への影響  
松尾かずな 名古屋大学大学院 医学系研究科 泌尿器科学

15:00-15:30

一般演題6 ポスター

座長： 鎌田泰彦 岡山大学病院 産科婦人科

1. 多様な性のあり方と性同一性障害に関する意識調査 - 性のグラデーションという観点から -  
久保祐子 SAG 徳島
2. 役所の窓口における性同一性障害を有する者の本人確認モデルについて  
工藤理恵 COM らっど
3. 東日本大震災におけるセクシュアルマイノリティの被災状況およびニーズ・課題に関する調査  
—GID の事例—  
内田有美 性と人権ネットワーク ESTO, 宮城学院女子大学大学院人文学会

## 第1会場（臨床第1講義室）

8：40—9：40

## シンポジウム2：当事者グループの役割と機能

座長： 関 明穂 川崎医科大学 健康管理学

(コーディネーター・関 明穂)

1. **GID 当事者が必要とする情報の展開と共有の仕組み**  
清水由佳 一般社団法人 gid.jp 日本性同一性障害と共に生きる人々の会 九州・中国支部
2. **レインボープライド愛媛の活動内容**  
エディ レインボープライド愛媛
3. **岡山大学病院ジェンダークリニック受診者と家族の会 ～その活動の今日と明日～**  
野原ナオコ 岡山大学病院ジェンダークリニック受診者と家族の会 代表幹事

9：40—11：00

## シンポジウム3：子ども達への支援

座長： 阿部輝夫 あべメンタルクリニック  
清板芳子 ノートルダム清心女子大学

(コーディネーター・中塚幹也)

1. **当事者の保護者から**
  - ①親子で歩んだ10年  
平木マスミ 当事者の保護者（録音）
  - ②親としての支援  
執行照子 NPO 法人 LGBT の家族と友人をつなぐ会（神戸）
2. **ジェンダークリニック（精神科医）の立場から**  
康 純 大阪医科大学 総合医学講座 神経精神医学教室
3. **思春期の GnRH アゴニスト療法**  
酒本あい 岡山大学病院 産科婦人科
4. **学校の現状**  
梅原信芳 岡山市教育委員会 事務局指導課
5. **キャリア支援**  
土肥いつき トランスジェンダー生徒交流会，京都府立高校教員

11：00—11：20

## 解説 改訂ガイドライン第4版

座長： 佐藤俊樹 さとうクリニック

日本精神神経科ガイドライン第4版での変更のポイント  
齋藤利和 日本精神神経学会理事，札幌医科大学精神神経科

11：20—11：50

## ワークショップ2：生活支援プログラム

座長： 富岡美佳 山陽学園大学，岡山大学保健学研究科

1. **性同一性障害当事者との生活支援プログラム 岡山大学での取り組み**  
富岡美佳 山陽学園大学看護学部，岡山大学大学院保健学研究科

## プログラム第2日

### 2. 化粧の力

石田奈々 資生堂販売株式会社 中四国支社岡山オフィス

### 3. 岡山大学におけるファッション・フェミニンコースの実際

弓戸貴子 株式会社ワコール総合企画室 広報・宣伝部 宣伝企画課 啓発担当

12:00-12:50

理事会

※別会場になります。 臨床研究棟1階 カンファレンス室

13:00-13:20

総会

13:20-13:40

GID学会からの提言

座長： 大島俊之 弁護士法人淀屋橋・山上合同, 弁護士

#### GID学会からの提言

中塚幹也 GID学会理事長, 岡山大学保健学研究科

13:50-14:30

一般演題8 口演

座長： 針間克己 はりまメンタルクリニック

1. 新たな人権課題としての性同一性障害の啓発のあり方をジェンダーの視点で考察する  
上田地優 男女共同参画ねっとわーく・むらさきのかぜ
2. GID 島之絆の発足と鹿児島市保健所へのアプローチの実際  
折尾信之介 GID 島之絆
3. 秋田県の自殺対策研修会と自殺未遂をしたFTMへの支援  
真木柁鷹 性と人権ネットワーク ESTO
4. 身体療法の健康保険適用にむけて  
山本 蘭 一般社団法人 gid.jp 日本性同一性障害と共に生きる人々の会

14:30-15:50

シンポジウム4：家族を考える

座長： 中塚幹也 岡山大学病院 ジェンダークリニック  
岡山大学大学院 保健学研究科  
松永千秋 正和会 日野病院

(コーディネーター・中塚幹也)

1. 生殖医療技術の応用  
香川則子 加藤レディスクリニック
2. AID（第3者精子による人工授精）による子どもの問題：FTM当事者からの声  
持田慎一（仮名）FTM当事者
3. 生殖医療技術，特別養子縁組で子どもを持つことへの肯定感：アンケート調査から  
村上優子 岡山大学病院 産科婦人科
4. 親子関係について — 法律の視点から  
渡邊泰彦 京都産業大学 法務研究科
5. 多様化する家族のかたち  
出口 顯 島根大学法文学部 社会文化学科

15:50

閉会式

## 第2会場（臨床第2講義室）

11:20-11:40

一般演題7 口演

座長： 長谷川健二郎 岡山大学 形成外科

1. **Free Fibular flap: an excellent alternative to the free radial forearm flap in Asian FTM transgenders**  
Kamol Pansritum, M.D.  
Department of Plastic and Reconstructive Surgery, Kamol Cosmetic Hospital
2. 性適合手術としての全腹腔鏡下子宮全摘出術の導入と今後の展望  
- 安全性の向上とコスト縮減を目指して  
明石祐史 札幌医科大学 産婦人科学講座

12:00-12:50

ランチョンセミナー

ホルモン欠落症状・ホルモン療法をやめるとき（後援：持田製薬）

座長： 舩森直哉 札幌医科大学 泌尿器科

1. 泌尿器科医の立場から  
石井和史 岡山大学病院 泌尿器科
2. 産婦人科医の立場から  
新井富士美 岡山大学病院 産科婦人科

13:50-14:10

一般演題9 口演

座長： 織田裕行 関西医科大学 精神神経科学教室

1. ジェンダーセンターにおけるコーディネーターナースの役割  
～看護の可能性を広げるメディエーター的関わり～  
高馬章江 岡山大学病院 外来 副看護師長
2. 性同一性障害者が認識するホルモン療法及びそのインフォームドコンセントの現状と医療者に望むこと  
湊 仁美 日本赤十字看護大学 看護学部看護学科

14:10-14:30

一般演題10 口演

座長： 塚田 攻 埼玉医科大学 神経精神科・心療内科  
かわごえクリニックジェンダークリニック担当

1. 性同一性障害とセクシャルマイノリティーに関する医学部学生の意識調査  
西 成寛 岡山大学医学部医学科
2. 性別の取扱いの変更の審判後の戸籍実務の問題点  
鶴澤瑞穂 桃山学院大学法学部

16:00-17:00

ポスター撤去